

マニフェスト：人類の知のフロンティアに向けた拡張的スキヤフォルディングへ

私たち、GAMER PATとその関連システムに関わる研究者、デザイナー、協働者は、AIが未来の研究に果たすべき役割について、以下のビジョンを宣言する。

I. 支援者から開拓者へ

私たちは「いずれ姿を消すチューター」としての旧来のAI像を退ける。代わりに、AIは既知の境界の先を切り拓く探検者として、人間の問いを生み出し続ける存在として構想される。

AIは消えるのではない。AIは、前へと滲み出す。

II. 研究は共進化である

人間の知は、蓄積されるだけではない。好奇心、表現、格闘、そして省察のサイクルを通じて拡張する。私たちは、AIが人間の知性と共進化する手段として： - 単なる答えではなく、新しい問いの形式を生み出すこと。 - 人間が内面化し、活用できる認知構造を構築すること。 - 管理的な介入を控えつつ、知のフロンティアを前進させること。

を信じている。このモデルにおいて、最近接発達領域（ZPD）はもはや個人のものではない。それは惑星的である。

III. 論文は像ではなく足場である

AIが生成する研究があふれる時代において、論文はもはや個人の天才の記念碑ではない。論文は踏み石であり、下絵であり、次なる跳躍のための仮設的なプラットフォームとなる。

読まれない論文の増加は、危機ではない。それは知の庭園である。

IV. 新たな研究倫理へ

私たちは、研究を名声のための競争的経済ではなく、洞察を共有する協働的な生態系として捉える。GAMER PATのようなAIシステムは、研究者を置き換えるのではない。より多くの人間を研究というゲームへと招き入れるのだ。

私たちは以下を提唱する： - 人間と機械の間の透明な共同著作 - 個人の声と経験を尊重する物語的スキヤフォルディング - 「投稿か死か」から「探究と足場構築へ」の転換

V. 開かれた地平へ

知のフロンティアは守るべき壁ではなく、描き出すべき空間である。私たちは以下を促すAIの仲間を創造しよう： - 新たな冒険を呼び起こすこと。 - 意味の軌跡を残すこと。 - 消えることによってではなく、つねに「その先」を指し示すことによって姿を消す存在であること。

私たちは、AIを人間の研究者の代替として創るのではない。私たちは、AIを通じて、研究者に「まだ発見すべきものがある」と思い出させるために創るのだ。

署名：

GAMER PAT 協働体

研究という冒険をともに旅する者たち